

# 八小コミュニティ・スクールだより No.2

## 第2回 八小 学校運営協議会

12月2日(火)、令和7年度第2回学校運営協議会が第八小学校CS室で開催されました。

今回は、授業参観の後、教頭先生より今年度のコミュニティ・スクールとしての主な取組が紹介され、その後「多文化共生社会を目指して地域や学校でどのようなことができるか」をテーマに熟議が行われました。

また、会議後は希望者による給食の試食会も行われました。

向漁業組合、水ジャーナリスト、ムジナモを守る会による特別授業)のほか、自動車教習所での安全教室、県立館林美術館の見学や彫刻の小径での木の実拾いなどがあります。

委員からは地域と学校の関わり合いが良く分かったとの意見が出されました。



会議の全景



◎ムジナモを守る会の特別授業

◎水ジャーナリストの特別授業



## ～第八小学校の主なCSの取組～

第八小学校のコミュニティ・スクールは令和4年度に始まり今年度で4年目を迎えました。

特色ある活動としては、「おやじクラブ」によるデイキャンプ、運動会でのウルトラクイズ、生け垣や庭木の剪定などがあります。

また、地域性を生かした活動とすると、学校の近くにある日本遺産「多々良沼」の学習(日



◎おやじクラブの庭木の剪定

## ～多文化共生社会を目指しての熟議～

続く熟議では、2グループに分かれ、「多文化共生社会を目指して地域や学校でどのようなことができるか」をテーマに熟議が行われました。このテーマが選ばれた背景には、多々良地区（八小）や六郷地区（六小、十小）は市内でも外国人が多く、早急に解決しなければならない多くの課題を抱えているからです。

### <第八小学校の現状と課題>

- ・八小には日本以外の国にルーツを持つ児童が多い（50人以上）。
- ・学校では、宗教によって、学習面、行事面、食事面などで課題が生じている。
- ・学習面では、音楽、体育（水泳）、図工の授業を受けない児童がいる。
- ・行事面では、林間学校など宿泊を伴う行事に参加しない児童がいる。
- ・食事面では、給食がハラールフードに対応していないため、弁当を持参する児童が31名もいる。また、ラマダン期間中は日中が断食となるため、朝食をとらずに登校する児童もいる。
- ・学校から保護者への連絡についてもコミュニケーション上課題がある。
- ・学校から保護者へはホーム&スクールを使用し日本語と英語の併記で連絡しているが、正しく理解できているか確認が取れていない。
- ・日本語を外国語に訳すことはAIでも可能であるが、AIが正確に訳しているかは不明である。
- ・登校時間など、習慣の違いから時間を守らない児童がいる。
- ・これらの課題解決ため、学校では、人的、物的

的に求めるものはあるが、現状では十分に満たされていない。

### <A班の熟議の内容>

#### ○地域での課題と解決方法

- ・現時点では外国人との接点が少なく、また言葉の壁から、コミュニケーションが取れないのが地域の現状である。
- ・そこで、例えば外国人の保護者にも「おやじクラブ」などに入会してもらうことにより、スポーツ、外国の遊び、食べ物などを通してみんなで楽しめる国際交流の場を設けることは課題の解決につながる。

#### ○学校での課題と解決方法

- ・日本での生活の仕方や学校生活の基本を事前に学習しないまま編入してくる児童がいるので、入学前のプレスクールを充実してはどうか。
- ・学校の日本語教室では、言葉以外に日本の習慣なども学習してもらうことが良い。

#### ○課題解決の注意点

- ・お互いの文化を理解し、お互いに歩み寄れるようにしていくことが重要である。
- ・外国人の児童については、学校内の習慣を少しずつ理解してもらうことが重要である。



A班の熟議の様子



A班の熟議のまとめ

### < B班の熟議の内容 >

#### ○地域での課題と解決方法

- ・外国人と日本人の生活習慣、文化や考えなどが互いに十分に理解できていないので、日本語発表会を公民館等で開催することや学校や地域のイベントに親子で参加できるような機会を設けてはどうか。

#### ○学校での課題と解決方法

- ・多文化、多言語への対応が十分でないので、双方の理解を促進するため、双方での話し合いをする機会を設けてはどうか。
- ・日本語ボランティアをさらに募集することも必要である。
- ・国際集会を持つことも効果的である。

#### ○課題解決の注意点

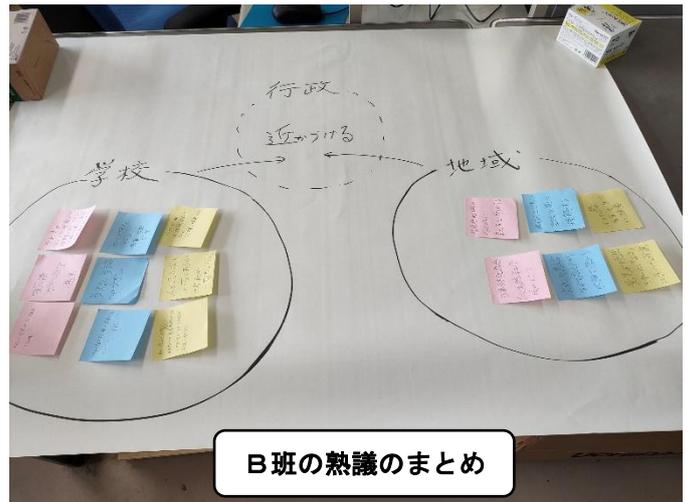
- ・あまり強制してしまうと日本文化への急な順応転換や同化をさせることになり、その機会が長続きしなくなる。
- ・宗教の違いによる食事や生活習慣に配慮する必要がある。
- ・「違いを強調」するのでなく、「理解を促進」させる必要がある。
- ・発表会やイベントでは、意見より感想を中心に「よさ」に気づける配慮が必要である。

#### ○地域と学校を連携

- ・より効果的に課題を解決するためには、地域と学校で行っている別々の事業を連携し近づけることが効果的であるため、まずは行政の関与が重要となる。



B班の熟議の様子



B班の熟議のまとめ

### < 今後の予定 >

- ・第3回学校運営協議会 2月17日(火)

### < 給食の試食会 >

- ・会議終了後、希望する委員による給食の試食会を行った。メニューは、シチュー、パン、牛乳などだったが、委員の皆さんには大変好評であった。